



February - March 2025

こ ん な **本**



読 ん で み て

ワンワンワン

No. **111**

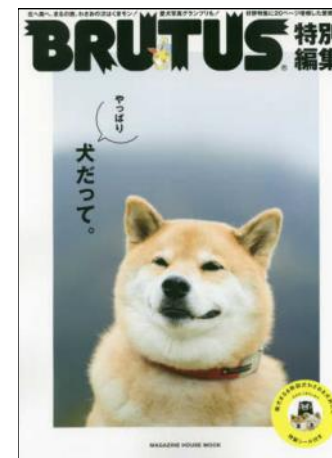
目次

Dogs 1

Book design の世界 vol.41 10

ちょこちょこ日記 #51 12

Dogs いつもそばに
犬の本。  



『やっぱり犬だって。』

出版社 / マガジンハウス

出版年 / 2017年

請求記号 / 645.6||B 78

かわいい犬が盛りだくさん。愛らしい写真、ほしよりこさんによるマンガ、犬愛満載のコラムが掲載されており、大満足の一冊です。犬と人との幸せな関係を見つめてみませんか？



『犬の教科書』

監修者／増田宏司
 出版社／ナツメ社
 出版年／2022年
 請求記号／645.6||Ma 66

犬の魅力や不思議、雑学や歴史など、犬にまつわたることが幅広く紹介されています。かわいいイラストが添えられていて、読みやすい一冊です。たくさんの発見があって、きっとますます犬が好きになるはずです。



『りっぱな犬になる方法+1』

著 者／きたやまようこ
 出版社／理論社
 出版年／2017年
 請求記号／726.6||Ki 74

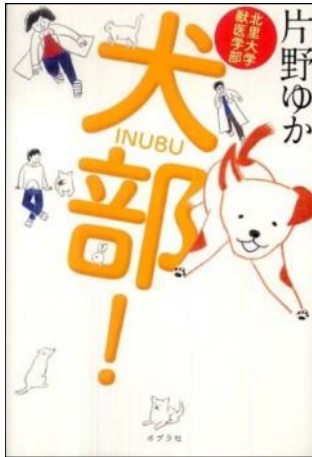
「しょうらい 犬になってみたいと おもっている人はいませんか？」犬になっても困らないように、ちゃんとした犬になる方法を教えてくれる、ユーモアたっぷりの一冊です。



『起きてから寝るまで イヌ英語表現』

著 者／春日聡子（解説・執筆）
 出版社／アルク
 出版年／2019年
 請求記号／837.8||Ka 79

犬にまつわる「あるある」を英語で表現してみませんか？SNSをより楽しむことができる、今どきの英語表現も紹介されています。犬との生活をイメージしながら英語を学ぶことができる一冊です。



『北里大学獣医学部 犬部!』

著 者／片野ゆか
 出版社／ポプラ社
 出版年／2010年
 請求記号／645.6||Ka 82

青森県にある大学のサークル「犬部」の活動を記録した一冊です。犬部では、行き場をなくした犬や猫を保護し、新しい飼い主を探す活動をしています。活動を通じて出会った一匹一匹と、大切に向き合っている様子が伝わってきます。映画『犬部!』(2021年公開)原作。



『おいで、一緒に、行こう』

著 者／森絵都
 出版社／文藝春秋
 出版年／2015年
 請求記号／645.6||Mo 45

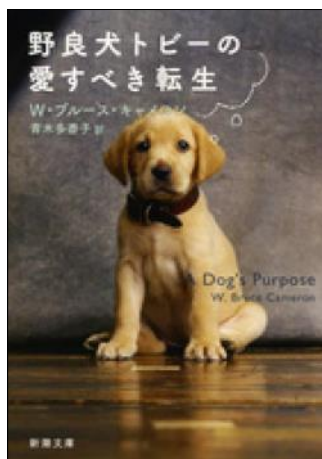
東北大震災後、福島第一原発周辺地区に残されたペットのレスキューに取り組む人々の活動を綴ったノンフィクション作品です。命について考えさせられる一冊です。



『保護犬と暮らすということ』

出版社／扶桑社
 出版年／2021年
 請求記号／645.6||Ta 33

犬を飼いたいと思ったとき、「保護犬を迎える」という選択肢を提示する一冊です。実際に保護犬を迎えた方々の暮らしが紹介されています。元保護犬たちのリラックスした表情には心が温まります。



『野良犬トビーの愛すべき転生』

著 者／ブルース・キャメロン
 訳 者／青木多香子
 出版社／新潮社
 出版年／2012年
 請求記号／933||C 14

野良犬として生まれたトビーの生まれ変わりを描いた作品です。犬の視点で語られており、犬の気持ちや動物の命について考えるきっかけになる一冊です。映画『僕のワンダフル・ライフ』（2017年公開）原作。



『白い犬とワルツを』

著 者／テリー・ケイ
 訳 者／兼武進
 出版社／新潮社
 出版年／1998年
 請求記号／933||Ka 98

妻を亡くした老人サムのもとに、どこからともなく不思議な白い犬が現れます。サムと家族の深い愛情が伝わってくる作品です。優しさと温かさに包まれる大人の童話です。



『冬の犬』

著 者／アリスティア・マクラウド
 訳 者／中野恵津子
 出版社／新潮社
 出版年／2004年
 請求記号／908||Sh 61

カナダ東端の厳冬の島、ケープ・ブレトンを舞台にした8つの短編小説が収められています。厳しい自然の中で動物と共に生きる人々の姿が描かれています。



『犬は知っている』

著 者 / 大倉崇裕
 出版社 / 双葉社
 出版年 / 2024年
 請求記号 / 913.6||0 57

ゴールデンレトリバーの「ピーボ」は、ファシリティドッグとして警察病院で患者に寄り添い、苦痛を和らげるために働いています。実はピーボには特別な任務があって…。犬が主役の警察小説です。



『少年と犬』

著 者 / 馳星周
 出版社 / 文藝春秋
 出版年 / 2020年
 請求記号 / 913.6||H 35

東日本大震災で飼い主を亡くした犬の「多聞」は出会った人々に寄り添います。犬と人の固い絆を描いた連作短編集です。第163回直木賞受賞作。2025年3月公開予定の映画化作品原作。



『犬がいた季節』

著 者 / 伊吹有喜
 出版社 / 双葉社
 出版年 / 2020年
 請求記号 / 913.6||I 12

高校に迷い込んだ一匹の白い子犬は「コーシロー」と名付けられ、生徒たちと共に学校生活を送ります。舞台は三重県。移り変わる時代の中で、コーシローと生徒たちとの交流が描かれ、心温まる作品となっています。



Book design

の世界

vol.41

橋爪 朋世さん

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第41回目は、橋爪朋世さんです。

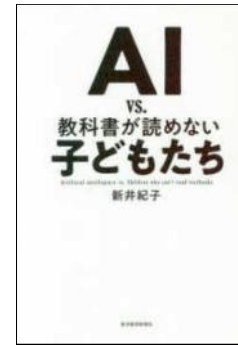
今回ご紹介する橋爪朋世さんは、東洋経済新報社へ入社し、雑誌広告の企画制作に携わった後、現在は書籍部門でブックデザインを中心に従事されています。

まず最初にご紹介する『Shoe dog 靴にすべてを。』（フィル・ナイト著／大田黒奉之訳／東洋経済新報社／2017年／589.75||Kn 3）は、ナイキの創業者フィル・ナイト自らが語る起業ストーリーです。本書の装丁を手がけた橋爪さんは、第52回造本装幀コンクールにおいて受賞されました。「カバーの表面加工をベルベットPPにして、読んでいる最中にもシューズのようなテクスチャーを感じられるように心がけた」⁽¹⁾と橋爪さんは解説しています。タイトルと著者名は金の箔押しが施され、ナイキのマークは型押しされていて、存在感のある装丁となっています。



本書の装丁を手がけた橋爪さんは、第52回造本装幀コンクールにおいて受賞されました。「カバーの表面加工をベルベットPPにして、読んでいる最中にもシューズのようなテクスチャーを感じられるように心がけた」⁽¹⁾と橋爪さんは解説しています。タイトルと著者名は金の箔押しが施され、ナイキのマークは型押しされていて、存在感のある装丁となっています。

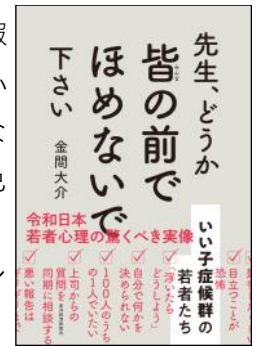
『サードドア 精神的資産のふやし方』（アレックス・バナヤン著／大田黒奉之訳／東洋経済新報社／2019年／936||B 17）は、18歳の大学生が世界の成功者たちへの突撃インタビューに挑戦するという実話を描いたノンフィクション作品です。白色の表紙には、エンボス加工でタイトルが浮き出しています。扉を開くイメージが湧き上がるデザインです。



『AI vs. 教科書が読めない子どもたち』（新井紀子著／東洋経済新報社／2018年／007.1||A 62）は、読解力をキーワードにAI技術と教育の未来への提言を示す一冊です。「AI」と「子どもたち」の文字がへこんでおり、シンプルであるからこそ言葉の対比が際立つデザインとなっています。

『先生、どうか皆の前でほめないで下さい

『いい子症候群の若者たち』（金間大介著／東洋経済新報社／2022年／371.47||Ka 45）は、若者たちの複雑な心理や行動を読み解く一冊です。「目立ちたくない」という気持ちをイメージさせるグレース色の表紙に、タイトルが印象的に配置されており、若者の切実な心の内を感じられるようなデザインです。



最後にご紹介する『自分で選んでいるつもり

『行動科学に学ぶ驚異の心理バイアス』（リチャード・ショットン著／上原裕美子訳／東洋経済新報社／2024年／675||Sh 98）は、心理学や行動科学をビジネスに活かす知見を紹介する一冊です。タイトルの文字「自分で選んでいる」と「つもり」の間が空いており、あみだくじが描かれていることで、デザインからも本書のメッセージが伝わってきます。



デザインについて橋詰さんは「キチンと理解するために、まず『聞く』姿勢を大切にしています」⁽²⁾と話します。そのような作品への理解のもと、橋爪さんが手がけた装丁によって、作品の魅力が読者へと届くのです。

Book design の世界 次回もお楽しみに！

参考・引用：(1)『ブックデザイン365』（パイインターナショナル／2020年／022.57||P 15）

(2) フォントワークスHP「フォントを巡る冒険」第4回 2019.09.12

<https://fontworks.co.jp/column/441/> (2025/1/20参照)



ちょこちょこ日記 #51 「犬のなまえ」

「こんな本読んでみて」No.111 (ワンワンワン) ということで、今号では、犬の本をたくさん集めてみました。どんな犬の名前が人気なんだろうと思って調べてみたところ、『家庭どうぶつ白書2024』にランキングが掲載されていたのでご紹介します。

【犬の名前 2024年 総合ランキング】

第1位 ムギ

第2位 ココ

第3位 モカ

第4位 ソラ

第5位 ラテ

「ムギ」は4年連続で第1位！また、男の子部門、女の子部門ともに「ムギ」が第1位という結果でした。さらに、猫の名前でも「ムギ」が第1位でした。「ムギ」という名前の圧倒的な人気伝わってきました。

参考・引用：『家庭どうぶつ白書2024』
(アニコムホールディングス株式会社/2024年)
<https://www.anicom-page.com/hakusho/> (2025/1/20参照)

次号 No.112 は、2025年4月発行予定です。



こんな本読んでみて No.111

2025年2月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www2.library.tsu-cc.ac.jp/>